

ホームページへの掲載	
済	令和2年8月21日 掲載

## 岐阜県立関特別支援学校

学校長 和田 俊人  
学校住所 関市桐ヶ丘一丁目2番地 電話 0575-22-4238

- 1 会議の名称** 岐阜県立関特別支援学校 学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成**
- |     |   |   |
|-----|---|---|
| 委員  | 梅村 美紀<br>大竹 幸雄<br>澤井 基光<br>ダーリンプル 規子<br>森藤 由幸                       | Man to Man Animo株式会社マネージャー<br>NPO法人おあぞら会理事<br>関市社会福祉協議会会長<br>中部学院大学短期大学部幼児教育学科教授<br>くらしまちづくり協議会役員 |
| 学校側 | 和田 俊人<br>水野有希子<br>田中久仁子<br>佐藤 知子<br>古田 康子<br>三宅 千絵<br>庄司 幸宏<br>旭 秀織 | 校長<br>PTA会長<br>教頭<br>事務部長<br>小学部主事<br>中学部主事<br>高等部主事<br>教務主任                                      |
- 3 会議の目的** 学校運営について地域住民や学識経験者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた活力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催** 書面会議：令和2年7月15日（水）～8月7日（金）  
※大雨警報発令時の対応に伴い、全委員より「書面会議承諾書」を取得  
※委員5人中5人より回答有  
<会の主な内容>  
(1) 学校概要の説明、本年度の学校運営の説明  
(2) 本年度の各部運営の説明：小学部・中学部・高等部・舎務部  
(3) 高等部作業製品販売価格  
(4) 新型コロナウイルス感染症への対応：学校再開ガイドライン  
当校の予防対策について  
・学校（関特）だよりについて

## 5 会議の概要

### (1) 本年度の学校運営について

- 意見 1 「めざす児童生徒の姿」は、すばらしい内容であると思います。その中に、誰かに助けを求められる力も含まれていると思います。
- 意見 2 しっかりと取り組んでみえると思います。

### (2) 本年度の各部運営について

- 意見 1 子ども達のそれぞれの個性を尊重した上で、今、どんな力を得ることが必要なのかを考えた教育支援計画が必要だと思えます。
- 意見 2 スクールバスや寄宿舎利用者が増えると自家用車通学の保護者の負担が軽減でき

ると思います。

意見 3 丁寧にやっていたらいいと思います。

### (3) 高等部作業製品の販売価格について

意見 1 販売価格については、適切だと考えます。販路を開拓してください。

意見 2 とても素敵な製品ばかりです。適正であると思います。

意見 3 とてもよい製品ができています。子ども達が自信をもてるとよいと思います。

意見 4 値段設定は妥当だと考えます。

※学校評議員全5人より価格が適正と承認され、「高等部作業製品販売価格承認書」を取得しました。

### (4) 新型コロナウイルス感染症へ対応について

意見 1 コロナ禍により、子ども達はもとより、先生方も対応に苦慮されていることと思います。第二波の恐れもあることから、最悪の事態を想定して、備えていただきたいと思います。

意見 2 きめ細やかな対策をしっかりされていると感じます。

意見 3 すべての家庭でオンライン授業のための通信環境等を整えることができない場合もあるので、その部分の支援をお願いします。

意見 4 特別支援学校という性質からも、大変配慮されていると思います。

意見 5 実際にきちんと対応されていること、対応について保護者をはじめとする関係者にしっかりと伝えられていることが、非常によいと思います。

意見 6 介助等を行う際に、密接を避けることは大変難しいですが、介助者を含め、できる限りの支援を注意して行ってほしいです。

### (5) その他

意見 1 学校教育にかける予算がもっと増えれば、様々な問題が解決されるような気がします。

意見 2 それぞれの資料から、いかに先生方がきめ細やかに子ども達のことを考え、学びを進め、生活を大切にしているかを感じました。コロナ禍で、感染予防だけでなく、「心のアンケート」も取りながら、一人一人をサポートしている姿勢に感心しております。

意見 3 本年度は、新型コロナウイルス感染防止対策や大雨等による警報発表時の対応等で、普段とは違う状況が多い年となっているが、先生方には感謝しかありません。

## 6 会議のまとめ

新型コロナウイルス感染症「第2波」に備えた感染拡大防止を徹底し、本会議でいただいたご意見を教職員へ周知するとともに、今後の新しい生活様式に基づいた学校経営に生かしていきたい。